



12/22 (火) 幸せの花が心の中にも咲きました！

「人権の花」運動の一環として、平成21年度「人権の花」開花式が浦城小学校で行われました。この運動は、子どもが協力しながら花を栽培することを通じて、命の大切さや相手を思いやる心を育み、基本的人権を尊重する精神を身につけてもらうことを目的としています。

開花式では、昨年10月に植え付けた苗が花開き、校内や会場となった体育館を鮮やかに飾りました。児童を代表して我喜屋杏奈さんは「人権とは誰もが幸せになるための権利であり、相手のことを思いやり、考えることで、みんなの幸せにつながると思います」と、あいさつしました。



1/16 (土) 西海岸！クリーンアップ活動

近年、海岸への漂着ごみなど環境問題が深刻化する中、豊かな自然が残る本市西海岸の海浜環境を保全しようと、市西海岸開発局、浦添建設業友の会、建設業協会浦添西原支部の3者共同で大規模な清掃活動を行いました。

カーミージー周辺の海浜には、ペットボトルなどの漂着ごみや不法投棄されたソファなどのごみが散在していましたが、総勢約100名が参加した清掃活動によって、そのほとんどが片付けられ、トラック4台分のごみが集積されました。今後も更に輪を広げ、西海岸のクリーンアップ活動を展開していきます。

1/5 (火) 浦添の発展と安心・安全な都市を願って

平成22年の新年祝賀会が市民体育館で開催され、各自治会や市内外の企業関係者が参加しました。鼓衆若太陽の太鼓演奏、浦添市文化協会の「かぎやで風」による輝かしい新春の祝福で始まった祝賀会は、新年の展望を語り合う声など大勢の人でにぎわいました。

また、市消防本部は恒例の新春出初式を行い、市消防職員と消防団員、婦人防火クラブが参加しました。併せて行われた消防緊急通信指令システム運用開始式において、紹介された最新鋭の高機能装置は、地域住民を災害から守る消防防災活動の更なる向上に期待が寄せられます。



1/7 (木) 民主政治確立のために明るい選挙を

1889年に選挙制度が開始されてから120年目を記念して行われた「選挙制度120周年記念表彰」において、受賞した與那嶺良子さん(総務大臣表彰)と比嘉輝子さん(総務大臣感謝状)が、報告のため市長を訪れました。両氏は本市の明るい選挙推進協議会の役員を長年務めており、選挙制度の啓発・普及活動に尽くした功績が認められての受賞となりました。

両氏は「私たちは選挙で棄権者が出ないよう、特に若い人にはできるだけ参加してもらうよう啓発活動を行ってきた」「これからも元気である限り頑張っていく」と、活動の意義と抱負を語りました。



1/16 (土) ~ 2/1 (月) 琉球伝統工芸の粋を一堂に

浦添市美術館開館20周年を記念して「沖縄の人間国宝展」が開催されました。展覧会では、重要無形文化財(人間国宝)に認定された県出身者5名の作品のほか、宮古上布・久米島紬(つむぎ)・喜如嘉の芭蕉布など技術保持団体の技と美が紹介されました。また、開催期間中には伝統工芸の有識者によるギャラリートークも行われました。

1月16日に行われた開会式では多くの方が来場し、人間国宝の玉那覇有公氏や県立芸術大学教授のルバース・ミヤヒラ吟子氏らの作品解説に熱心に耳を傾けていました。



よい良い生きがい作りの意識を高め合う

浦添市てだこ学園大学院の平成21年度意見発表会が市中央公民館で開催され、各年次5名ずつの計10名が、日頃の学園生活を通じ長い人生経験からにじみ出る生き方についての意見、体験などを発表しました。

今回は、健康維持や沖縄の長寿問題、戦争体験に関することなど豊富なテーマがあり、2年次の砂川昌逸さんは「高齢化社会は高齢者が主役です。学園で学んだことを活かして、支え合い、チャレンジする高齢者の役割を果たしていきたい」と、今後の自身の役割を述べました。



1/12 (火) 浦添勢が九州を"大"制覇！

12月に行なわれた「九州小学生親善ハンドボール大会」において、上位3位を勝ち取った小学校4校のハンドボールクラブ67名が市長を訪問しました。各学校の選手代表あいさつでは、「ディフェンス、オフェンスも良くできて、チームワークも良かった」「他県の選手たちと交流し、仲良くなれたことが良かった」と、喜びの声がありました。結果は次のとおりです。

女子の部 牧港小(優勝) 宮城小(準優勝)
神森小(3位)
男子の部 神森小(準優勝) 内間小(3位)